

市政に関する

一般質問

要旨

第3回定例会では、20名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧いただけます。

YouTube 多摩市議会 で検索してください。

発言の全文を記載した会議録は12月上旬以降、市内の各図書館や多摩市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



各議員の動画は
こちらから



多摩市議会会議録
検索システム



大くま真一 (日本共産党)

多摩のまちの過去・現在・未来をどう
引き継いでいくのか？
～映像資料の活用と保存について～

問 ニュータウンの開発の際に、多摩市ではこの変わりゆくまちを映像で記録してきた。これはわがまちの開発前と後をつなぐ記録として、また国内最大規模のニュータウン開発の記録として大変貴重なものである。市はどのように評価し、活用を進めるのか伺う。

答 貴重な記録であり、継承していくべき大切な財産。これまで記録映画10本を制作し図書館等で公開している。また、今年度、新規の動画を制作しており、次年度以降公開を予定している。

問 市民に観ていただくとともに、学術研究にもつなげるため、デジタルアーカイブなどで、素材も含め公開すべきではないか。

答 素材については公開を予定していない。

問 「大切な財産」と評価しながら、6月の多摩市文化財保護審議会ではフィルム等の処分について議題になっている。私も保存すべきと働きかけも行ってきたがどうか。

答 フィルムについては保存する方針にいたった。



小林憲一 (日本共産党)

- 1.先発医薬品の一部「保険外し」による患者負担増を防げ
- 2.失語症者支援…個人派遣への拡大を

問 今年10月からの先発医薬品の一部「保険外し」策は、国民皆保険制度に反する混合診療を拡大する突破口になる。この危険性についての認識を問う。

答 国民皆保険制度は堅持すべきだ。今回の制度改定は、医療上の必要性がある場合などの除外ケースもあり、一定の理解はする。

問 医師会などの要望で医師の判断で「保険外し」が除外される「歯止め」ができたが、これが活用されるよう、医師・薬局・患者への周知をお願いしたいが、いかがか。

答 多摩市医師会や薬剤師会と連携していく。また、たま広報とホームページで周知していく。

問 失語症会話パートナー派遣について、団体派遣の一層の充実と個人への派遣もすすめてほしいがどうか。

答 適切なコーディネート機能の確保など課題はあるが、ニーズの把握に努めながら、課題解決に向け調整・検討をすすめる。



藤條たかゆき (あすたま・維新)

いま、教育に求められるものとは
～子ども達の学びを止めないために～

問 不登校30万人時代と言われているが、不登校を選択した子どもたちがまずは安心して休める居場所を得られること、そして一人ひとりがそれぞれに合った学びを選択できることが大切である。多摩市では、どことも繋がりを持っていない不登校児童生徒が2割程であるということだが、東京都でも今年度フリースクール等の利用者支援事業として、一人月額2万円まで助成される制度が始まっている。今後「居場所支援型」「学び支援型」など、その選択肢の幅が広がっていくことを期待したい。学校以外の学びに対して、学習評価として認証していく動きについて伺う。

答 文部科学省も一定の要件のもと、在学校の教育課程に照らして適当と認められる外部機関の学びを認証していく制度を省令として施行した。学校としても評価していく。

問 多摩市の「あたごSpace」においても、個々の課題に配慮した柔軟な授業の組み立てをされているがどうか。

答 子どもたちの主体的な学びに繋がっている。

